

公益社団法人劇場出空間技術協会

令和3年度事業報告

令和3年度の事業計画に基づき実施した事業は次の通りである。

1. 会議

1) 総会

令和3年度通常総会（令和3年5月26日14:00～15:23）

令和3年度通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面総会として東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 公益社団法人劇場演出空間技術協会事務局会議室及びWeb会議方式にて、限られた執行理事と部会長の出席により開催した。

(1) 審議事項：

第1号議案 令和2年度事業報告 承認の件

第1号議案 令和2年度事業報告承認の件について中川事務局長、業務担当理事及び各部会長から活動内容の報告があった。

議長が本件についての意見、質問がないことを確認し挙手により賛否を諮った結果、議長を除き賛成49名、反対0名で原案通り承認された。（別紙議案書を参照のこと）

第2号議案 令和2年度収支決算報告 承認の件

第2号議案 令和2年度収支決算報告承認の件について財務担当の荻野均副会長より説明があり、尾澤監事、間瀬監事による監査を受け、監査報告書を受領しているとの報告があった。

議長が本件についての意見、質問がないことを確認し挙手により賛否を諮った結果、議長を除き賛成49名、反対0名で原案通り承認された。（別紙議案書を参照のこと）

(2) 報告事項：

第1号報告 令和3年度事業計画報告の件

議長の指示に従い添付の通常総会議案書に基づき、第1号報告 令和3年度事業計画書について中川事務局長、業務担当理事及び各部会長から報告があった。

質疑事項なし

第2号報告 令和3年度収支予算報告の件

議長の指示に従い添付の通常総会議案書に基づき、第2号報告 令和3年度収支予算について財務担当の荻野均副会長から説明があった。

質疑事項なし

2) 理事会

令和3年度においては次の通り、定例理事会を4回開催した。

第55回定例理事会（令和3年04月23日（金）14:00～15:40 於 JATET 会議室）

審議事項

第1号議案 令和2年度事業報告承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第2号議案 令和2年度収支決算報告承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第3号議案 令和3年度通常総会議事次第承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第4号議案 正会員A ライティングビッグワン株式会社 会員種変更
（正会員A→賛助会員A）の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第5号議案 松岡 伸哉氏 賛助会員B入会の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第6号議案 正会員C 木村 博行氏 建築部会 退部の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第7号議案 正会員A 荻野 均氏 機構部会 退部の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第8号議案 正会員A 内池 善蔵氏 機構部会 入部の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第9号議案 正会員A 角 佳和氏 照明部会 退部の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第10号議案 正会員A 棚倉 誠貴氏 照明部会 入部の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第11号議案 第27回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募の件

審議の結果、今年度は「推薦者なし」と回答することが全員一致で可決承認された。

第56回定例理事会（令和3年08月27日（金）14:00～14:56 於 JATET 会議室）

審議事項

第1号議案 正会員A 東芝ライテック（株）小川 知巳氏 照明部会 入部の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第2号議案 賛助会員A TOA（株）明星 稔氏 音響部会 退部の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第3号議案 賛助会員A TOA（株）岡 大介氏 音響部会 入部の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第4号議案 JATET 誌90号について

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 57 回定例理事会（令和 3 年 11 月 24 日（水）14:00～16:28 於 JATET 会議室）

審議事項

第 1 号議案 選挙管理委員会委員選出の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 2 号議案 令和 4 年度総会開催及び総会の方法、総会日時場所の決定について

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 3 号議案 定款改訂検討（案）の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 4 号議案 技術展開催についての件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 HP リニューアルについての件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 6 号議案 正会員 C 清水 裕之氏 退会の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 7 号議案 山口 英峰氏 正会員 C 入会の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 8 号議案 正会員 A 野田 恭正氏 照明部会 退部の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 9 号議案 正会員 A 中津川 啓氏 照明部会 入部の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 10 号議案 全国舞台テレビ照明事業協同組合へ賛助会員入会の件

討議の結果、決議を行わず次回までに確認をすることになった。

第 58 回定例理事会（令和 4 年 2 月 25 日（金）14:00～15:52 於 JATET 会議室）

審議事項

第 1 号議案 令和 4 年度事業計画の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 2 号議案 令和 4 年度事業予算の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 3 号議案 尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 4 号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 令和 4 年度資金運用計画について

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 6 号議案 令和 4 年度通常総会 会議室会場、懇親会会場について

審議の結果、全員一致で可決承認された。

第 7 号議案 正会員 A 東芝ライテック株式会社 茅野 邦宏氏 照明部会 退部の件

- 審議の結果、全員一致で可決承認された。
- 第 8 号議案 賛助会員 B 藪下 満氏 建築部会 退部の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。
- 第 9 号議案 正会員 C 為ヶ谷 秀一氏 退会の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。
- 第 10 号議案 正会員 C 鈴木 伸一氏 退会の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。
- 第 11 号議案 小川 太郎氏 賛助会員 B 入会の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。
- 第 12 号議案 正会員 A イグス株式会社 会員種変更の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。
- 第 13 号議案 正会員 C 為ヶ谷 秀一氏 映像部会 退部の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。
- 第 14 号議案 正会員 C 鈴木 伸一氏 音響・映像・広報部会 退部の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。
- 第 15 号議案 正会員 A ヤマハサウンドシステム株式会社 鳴原 晃氏
教育研修部会退部の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。
- 第 16 号議案 小川 太郎氏 映像部会 入部の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。
- 第 17 号議案 賛助会員 A 愛知県舞台運営協同組合 金光 浩昭氏 音響部会 退部の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。
- 第 18 号議案 賛助会員 A 愛知県舞台運営協同組合 酒井 透氏 機構部会 退部の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。
- 第 19 号議案 賛助会員 A 愛知県舞台運営協同組合 小久保 和紀氏 照明部会 退部の件
審議の結果、全員一致で可決承認された。

3)委員会

(1)事業執行連絡委員会

第 59 回事業執行連絡委員会

(令和 3 年 4 月 9 日 (金) 14:00~15:10 於 JATET 会議室)

令和 2 年度事業報告 (案) の件、令和 2 年度収支決算報告 (案) の件、正会員 A ライティングビッグワン株式会社 賛助会員 A へ会員種変更の件、正会員 A 三精テクノロジー株式会社 荻野均氏 機構部会 退部の件、正会員 A パナソニック株式会社ライフソリューションズ社 角佳和氏 照明部会 退部の件、正会員 A 三精テクノロジー株式会社 内池善蔵氏 機構部会 入部の件、正会員 A パナソニック株式会社ライフソリューションズ社 棚倉誠貴氏 照明部会 入部の件、賛助会員 B 松岡伸哉氏 入会の件

第 60 回事業執行連絡委員会

(令和 3 年 5 月 14 日 (金) 14:00~15:10 於 JATET 会議室)

Inter BEE 2021 協力名義使用許可の件

第 61 回事業執行連絡委員会

(令和 3 年 6 月 11 日 (金) 14:00～14:40 於 JATET 会議室)

審議事項 特になし

第 62 回事業執行連絡委員会

(令和 3 年 7 月 13 日 (火) 14:00～14:40 於 JATET 会議室)

審議事項 特になし

第 63 回事業執行連絡委員会

(令和 3 年 8 月 17 日 (火) 14:00～14:40 於 JATET 会議室)

正会員 A 東芝ライテック株式会社 小川知巳氏 照明部会入部の件、賛助会員 A TOA 株式会社 岡大介氏 音響部会入部の件、賛助会員 A TOA 株式会社 明星稔氏 音響部会退部の件

第 64 回事業執行連絡委員会

(令和 3 年 9 月 15 日 (水) 14:00～15:00 於 JATET 会議室)

審議事項 特になし

第 65 回事業執行連絡委員会

(令和 3 年 10 月 13 日 (水) 14:00～15:50 於 JATET 会議室)

世界劇場会議名古屋フォーラム 2021 後援名義使用許可の件、正会員 C 清水裕之氏退会の件

第 66 回事業執行連絡委員会

(令和 3 年 11 月 12 日 (金) 14:00～15:50 於 JATET 会議室)

正会員 A 株式会社松村電機製作所 野田恭正氏 照明部会退部の件、正会員 A 株式会社松村電機製作所 中津川啓氏 照明部会入部の件、山口英峰氏 正会員 C 入会の件、令和 4 年度役員選挙 選挙管理委員の選任の件

第 67 回事業執行連絡委員会

(令和 3 年 12 月 14 日 (火) 14:00～15:10 於 JATET 会議室)

JATET 誌 90 号の表紙の件、令和 4 年度通常総会 会議室会場 懇親会会場の件、「ProLight&ProVisual2022」後援名義使用のお願いの件

第 68 回事業執行連絡委員会

(令和 4 年 1 月 18 日 (火) 14:00～15:00 於 JATET 会議室)

東芝ライテック株式会社 茅野邦宏氏 照明部会退部の件、令和 4 年度通常総会 会議室会場 懇親会会場の件

第 69 回事業執行連絡委員会

(令和 4 年 2 月 15 日 (火) 14:10～15:20 於 JATET 会議室)

令和 4 年度 事業計画・事業予算の件、正会員 C 為ヶ谷秀一氏 退会・映像部会退部、部会長辞任の件、賛助会員 B 藪下満氏 建築部会退部の件

第 70 回事業執行連絡委員会

(令和 4 年 3 月 15 日 (火) 14:00～15:10 於 JATET 会議室)

正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 木村文一氏 教育研修部会退部の件、正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 弘周一郎氏 教育研修部会入部の件、第 28 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募の件

2. JATET 部会報告

1) 教育研修部会

教育研修部会事業報告

活動概要

(1) 部会開催

イ. 第 70 回教育研修部会	4 月 28 日	メールにてチャット形式で開催
ロ. 第 71 回教育研修部会	5 月 28 日	メールにてチャット形式で開催
ハ. 第 72 回教育研修部会	6 月 25 日	メールにてチャット形式で開催
ニ. 第 73 回教育研修部会	7 月 27 日	リモート会議にて開催
ホ. 第 74 回教育研修部会	8 月 31 日	メールにてチャット形式で開催
ヘ. 第 75 回教育研修部会	9 月 28 日	メールにてチャット形式で開催
ト. 第 76 回教育研修部会	10 月 25 日	メールにてチャット形式で開催
チ. 第 77 回教育研修部会	11 月 29 日	メールにてチャット形式で開催
リ. 第 78 回教育研修部会	12 月 24 日	メールにてチャット形式で開催
ヌ. 第 79 回教育研修部会	1 月 28 日	メールにてチャット形式で開催
ル. 第 80 回教育研修部会	2 月 18 日	Teams にて Web 会議で開催
ヲ. 第 81 回教育研修部会	3 月 24 日	リモート会議にて開催

(2) その他

今年度はコロナの影響により施設見学会を開催することができなかった。

「アクリエひめじ」を JATET ジャーナルにて紹介した。

2) 建築部会

建築部会事業報告

活動概要

- (1) 定例会部会を概ね毎月開催し、年度当初は JATET フォーラム 2020/21 のオンラインセミナーのコンテンツ制作を行い、その後は建築部会が編集担当号である JATET 誌 90 号の特集の企画・編集に専念した。

活動内容

(1) 部会の開催

下記日程で部会を開催し、JATET 誌 90 号の特集「再生する劇場」に取り組んだ。

イ. 令和 3 年 4 月 12 日	第 74 回建築部会	オンライン
ロ. 令和 3 年 5 月 17 日	第 75 回建築部会	オンライン
ハ. 令和 3 年 6 月 21 日	第 76 回建築部会	オンライン
ニ. 令和 3 年 7 月 27 日	第 77 回建築部会	オンライン
ホ. 令和 3 年 8 月 13 日	第 78 回建築部会	オンライン
ヘ. 令和 3 年 9 月 21 日	第 79 回建築部会	オンライン
ト. 令和 3 年 10 月 25 日	第 80 回建築部会	オンライン
チ. 令和 3 年 11 月 12 日	第 81 回建築部会	オンライン
リ. 令和 3 年 12 月 20 日	第 82 回建築部会	オンライン
ヌ. 令和 4 年 1 月 11 日	第 83 回建築部会	オンライン

(2) JATET 誌 90 号 特集「再生する劇場」

イ. 建築部会が編集担当となり 90 号のテーマを「再生する劇場」とし、「大震災」「改築」「改修」「再開発」といった様々な切り口から劇場・ホールの再生について事例紹介を中心に編集した。

結果的には、詳細な事例紹介 13 例、概略の紹介 28 例と合計 41 例の施設を紹介することができた。この内、設計者や運営者等 8 名の外部執筆者に寄稿をいただいた。また、これとは別に、機構、照明、音響、映像の各技術系部会にも同テーマでの執筆をいただいた。

ロ. 近年、劇場・ホールを紹介する書籍、雑誌が少なくなった中で、まとまった事例を紹介できた。

3) 機構部会

機構部会事業報告

活動概要

部会を毎月開催し、以下の活動を行った。

活動内容

(1) 第 108 回～第 117 回機構部会を開催した。

イ. 令和 3 年 4 月 14 日	第 108 回機構部会開催
ロ. 令和 3 年 5 月 19 日	第 109 回機構部会開催
ハ. 令和 3 年 6 月 16 日	第 110 回機構部会開催
ニ. 令和 3 年 7 月 21 日	第 111 回機構部会開催
ホ. 令和 3 年 9 月 9 日	第 112 回機構部会開催
ヘ. 令和 3 年 10 月 20 日	第 113 回機構部会開催
ト. 令和 3 年 11 月 17 日	第 114 回機構部会開催
チ. 令和 3 年 12 月 8 日	第 115 回機構部会開催
リ. 令和 4 年 1 月 19 日	第 116 回機構部会開催
ヌ. 令和 4 年 2 月 16 日	第 117 回機構部会開催

(2) JATET 誌 89 号編集

JATET 誌 89 号の特集編集担当としてテーマを決定、各部会に執筆依頼を行った。

(3) 吊物機構安全指針の見直し

JATET-M-6030-3 吊物機構安全指針・同解説の見直しを行った。

(4) 吊物装置における各駆動方式等の調査・研究

未来の駆動部について、昨年同様コロナ禍で十分な議論の場を持たず、議論する駆動部の方向性が決定するにとどまった。

次回セミナーでの発表に向け引き続き議論を行う事とした。

4) 照明部会

照明部会事業報告

活動概要

令和 3 年度においては、次に示すように定例照明部会を 5 回、事業計画にある聞き取

り調査を2回（1月17日、2月28日実施）、「演出空間用LED照明器具表示規格研究会」（9月30日実施）をそれぞれ開催し、下記の活動を行った。

活動内容

(1) 照明部会

下記の日程で照明部会を開催した。

- イ. 令和3年6月23日 第66回照明部会開催 JATET 会議室・Web 会議
- ロ. 令和3年8月25日 第67回照明部会開催 JATET 会議室・Web 会議
- ハ. 令和3年10月29日 第68回照明部会開催 JATET 会議室・Web 会議
- ニ. 令和3年12月27日 第69回照明部会開催 JATET 会議室・Web 会議
- ホ. 令和4年2月2日 第70回照明部会開催 JATET 会議室・Web 会議

へ. 「舞台照明でのネットワークとDMX-512に関する資料の作成と公開」と「LED機材の増加による運用聞き取り調査」については、部会での話し合いの結果、同じ活動で実施することに決定した。聞き取り調査の候補の選定を実施、2箇所の聞き取り調査を実施した。来年度も継続して活動していく。

ト. 部会内で劇場設備指針に関する解釈について議論になった。この活動の中で分岐ケーブルに対する注意喚起を改めて実施することに決定し、ホームページを活用しての注意喚起を実施した。今後も必要な注意喚起があれば実施していく。

チ. 機関誌内のテーマ「再生する劇場」において、部会として執筆を実施した。

リ. 「JATET-L-7190の改正作業」については、ほかの事業計画を推進する中、取り掛かることができなかった。来年度への活動へ持ち越しとなる。

(2) 研究会

イ. 「照射エリアについての考え方の統一」については、コロナ影響で活動が止まっていたが、LED表示委員会にて再キックオフを実施した。素案作成まで実施できた。JATET-L-5080のLED版としてまとめていく方向で決定し、来年度の発刊を目指していく。

5) 音響部会

音響部会事業報告

活動概要

今年度は昨年と同様にコロナ禍の中、感染防止のため対面での部会を行わずWeb会議形式で定例音響部会を6回、各研究会を8回開催し、下記の活動を実施した。

活動内容

(1) 音響電源関連音響電源研究会では、電源関係の指針を再確認するため、演出空間仮設電気設備指針の主に電圧降下・配線設計について勉強会および意見交換を行った。また、機器間のアース電位に関する内容や単相三線100V/200V時のアースの取り方や漏れ電流に関する勉強会を行った。

一般社団法人日本音響家協会から技術セミナー「音響電源を考える vol.2」に講師として招かれ「200Vと100Vの音の違いとは」と題して、音響電源200V化のメリットと今後の課題について講演を行った。

(2) 舞台連絡設備関連舞台連絡設備研究会では、舞台連絡設備指針改定に向けてのアンケート調査・結果報告に加え、舞台連絡設備を使用する音響家の方々から意見を伺った。今後、これらで得られた情報を元に指針改定作業を行っていく予定。

(3) SMPTE ST2110 関連

映像部会との共同研究として ST2110 に関して研究会メンバー向けセミナーを 2 回実施。また、3 月 8, 9 日に池上通信機にて ST2110 信号疎通試験を行いその内容を Teams で共有した。結果としては遠隔地と劇場間 (想定) を 100GB の光ケーブルで結び音声・映像・連絡設備 (WL インカム) が低遅延で相互にルーティングでき、劇場ホールでの運用の可能性を大いに期待できる内容となった。

この内容を次年度の JATET 誌で紹介する予定としている。

(4) JATET 誌

JATET 誌 89 号では「配信における劇場の課題と今後の可能性」をテーマに「劇場における配信ミックスの留意点」及び「連絡設備としてのリモート演出」と題して執筆を行った。

JATET 誌 90 号では「再生する劇場」をテーマに「音響設備の改修(再生)の現状と今後」及び「再生に対応できる配線インフラへの希求」と題して執筆を行った。

(5) 部会開催

イ.	2021 年 4 月 16 日	15:00~16:45	第 1 回音響部会開催	Web 会議
ロ.	2021 年 6 月 18 日	15:00~16:47	第 2 回音響部会開催	Web 会議
ハ.	2021 年 8 月 20 日	15:00~16:15	第 3 回音響部会開催	Web 会議
ニ.	2021 年 10 月 22 日	15:00~17:10	第 4 回音響部会開催	Web 会議
ホ.	2021 年 12 月 17 日	15:00~16:40	第 5 回音響部会開催	Web 会議
ヘ.	2022 年 2 月 18 日	15:00~15:55	第 6 回音響部会開催	Web 会議

(6) 研究会開催

イ.	2021 年 4 月 21 日	15:00~	第 1 回電源研究会音	Web 会議
ロ.	2021 年 7 月 2 日	15:00~	第 2 回電源研究会音	Web 会議
ハ.	2021 年 9 月 14 日	10:30~	第 1 回 ST2110 研究会	Web 会議
ニ.	2021 年 10 月 22 日	10:30~	第 2 回 ST2110 研究会	Web 会議
ホ.	2021 年 12 月 22 日	10:30~	第 3 回 ST2110 研究会	Web 会議
ヘ.	2022 年 2 月 3 日	10:30~	第 4 回 ST2110 研究会	Web 会議
ト.	2022 年 3 月 7 日	15:00~	第 3 回電源研究会音	Web 会議
チ.	2022 年 3 月 8, 9 日	10:00~17:00	ST2110 信号疎通試験	池上通信機

6) 映像部会

映像部会事業報告

<技術状況>

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大が続く中で、7 月 23 日から 9 月 5 日に東京オリンピック・パラリンピックが開催された。オリンピック組織委員会は、殆どの競技会場を無観客とする方針を決定し、東京都や政府は、市民に外出自粛および自宅での競技観戦を呼びかけた。その結果、テレビやラジオによる放送と共に、インターネット

による動画配信サービスも急激に伸びたと報告されている。ネットワークによるライブ動画配信サービスには、多数の鑑賞者が同時にアクセスする通信のインフラが不可欠になる。このオリンピックにおける視聴メディアの多様化に見られるように、インターネットによる動画配信のニーズが急速に高まって来ている。

我々が関係する劇場や演出空間においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響による公演中止やホール・劇場の閉鎖などにより、インターネットによるコンサートのライブ配信やアーティストによる動画配信サービスなどが急速に増加して来ている。

<映像部会活動報告>

昨年度より数回に亘る部会での議論を経て、30周年記念事業となる JATET フォーラム 2020/21 に向けて、「劇場・舞台映像の今後」をテーマとし、コロナ禍の状況を受けての劇場やホールでの実演を観客に届ける新たな情報発信の手段として、インターネット (IP) 技術を基盤とした映像・音響設備やネットワークシステムを考えて行くことが重要なテーマとなるものと考え、以下の二つのコンテンツを制作し、これ等から、劇場・演出空間のレジリエンス (回復力) に向けた活動のスタート点とした。

- ① NHK ホールで培われてきた音響映像設備の技術革新への取り組みの変遷と、蓄積された知見を基盤とした劇場技術の将来を考える。
- ② スマートシティ構想における市民社会における劇場の新しい存在意義を、デジタルネットワーク技術の進化を見据えて将来の形を考える。

<映像部会の開催>

オンライン会議システムを活用したリモートによる部会開催により、積極的な議論の場を設けて活動を進めて来た。

- イ. 第 81 回映像部会 6 月 18 日 (金) (リモート開催)
- ロ. 第 82 回映像部会 9 月 14 日 (火) (リモート開催)
- ハ. 第 83 回映像部会 11 月 4 日 (木) (ハイブリッド開催)
- ニ. 第 84 回映像部会 1 月 27 日 (木) (リモート開催)
- ホ. 第 85 回映像部会 3 月 24 日 (木) (ハイブリッド開催)

<映像・音響部会共同研究会の開催>

コロナ禍の影響で劇場無観客配信が急速に増加傾向にある中、映像・音声・制御信号の伝送新技術である IP (インターネット・プロトコル) SMPTE ST-2110 について研究し、将来のインフラ整備に役立つ知見を得ることを目指した研究会を映像部会、音響部会共同で実施した。

- イ. 第 1 回研究会 (9 月 14 日) 研究会キックオフ
- ロ. 第 2 回研究会 (10 月 22 日) オンラインセミナー (池上通信機)
- ハ. 第 3 回研究会 (12 月 22 日) オンラインセミナー (オタリテック)
- ニ. 疎通試験に向けた準備ミーティング (2 月 24 日)
- ホ. 第 4 回研究会 (3 月 8 日、9 日) ST-2110 信号疎通試験

(池上通信機セミナールーム)

(当研究会 13 名及び映像機器メーカー 11 名のマルチベンターが参加、研究会の状況は以下の YouTube で公開)

(JATET 公開 YouTube https://youtube/NU_WwETRM6)

7) 広報部会

活動概要

隔月 1 回を原則に部会を開催した。

活動内容

(1) 定例部会

イ. 令和 3 年 6 月 14 日	第 36 回広報部会開催	Web 会議
ロ. 令和 3 年 8 月 23 日	第 37 回広報部会開催	Web 会議
ハ. 令和 3 年 10 月 18 日	第 38 回広報部会開催	Web 会議
ニ. 令和 3 年 12 月 13 日	第 39 回広報部会開催	Web 会議
ホ. 令和 4 年 2 月 7 日	第 40 回広報部会開催	Web 会議

(2) JATET とその活動についての情報発信を図る。

JATET の持つ多くの劇場演出空間についての情報や人的資源を、広く社会のために資するための広報活動を展開し、社会のニーズを調査し、JATET とその活動範囲の拡大と活性化を図る。

必要に応じて JATET リーフレットの改訂を行った。英語版の作成を検討し案を作成した。

(3) JATET 全体での事業について、広報分野を担当し協力する。

JATET の重要な広報媒体である JATET 誌の編集に際して、その内容がより読みやすく且つ魅力的なものであるよう、編集担当部会に協力を行った。

今期は JATET 誌 89 号および 90 号について協力したが、まだ改善できる可能性があると考えている。

また、JATET 主催行事の運営に協力した。今期は、昨年度に新型コロナの影響によって、リアル開催ではなく、配信による開催となった JATET フォーラム 2020/21 が、実際に配信された。この JATET フォーラム 2020/21 における基調講演は、遡れば昨年度広報部会で取り上げ積極的に議論したテーマが結実したものであった。

3. JATET フォーラム 2020/21 セミナー

令和 2 年度中にはコンテンツの制作が完了せず、今年度を実施した。

当初 JATET フォーラム 2020/21 オンライン配信セミナーは、6 月 1 日から 6 月 30 日まで配信予定でスタートしたが、全コンテンツの視聴を申し込まれた方から、視聴期間が短いので延長して欲しいとの要望もあり、8 月 31 日まで視聴券販売・視聴期間を延長した。チケットの総売上枚数が 170 枚、1 コンテンツ売上が 72 枚、通し券売上が 98 枚となった。

4. JATET 誌

JATET 誌 89 号は機構部会が編集担当部会となり企画、令和 3 年 9 月 30 日に「JATET フォーラム 2020/21 総括」「配信における劇場の課題と今後の可能性」を特集し 2,300 部を発行した。全国の主要公共ホール・公共劇場、関係官庁・関連団体、JATET 会員及び広告主に無償配布した。

JATET 誌 90 号は建築部会が編集担当部会となり企画、令和 4 年 2 月 28 日に「再生する劇場」を特集し 2,300 部を発行した。全国の主要公共ホール・公共劇場、関係官庁・関連団体、

JATET 会員及び広告主に無償配布した。

5. JATET ジャーナル

今年度は施設見学会開催に関わらず、JATET ジャーナルを紹介した。

令和4年3月31日に JATET ジャーナル 19号(特集:姫路市文化コンベンションセンター「アクリエひめじ」)を発行した。

6. JATET ニュースについて

令和3年4月5日(月)に JATET ニュース第222号を発行し、その後令和4年3月11日(金)に JATET ニュース第228号を発行するまで、計7回発行した。

読者数は、令和3年末に2,200人超を確保した。

7. JATET リーフレットについて

JATET リーフレットの改訂を行い、ホームページに掲載した。また、英語版のリーフレットを検討して案を作成した。

以上

附属明細書は無し